

# 平成16年度の鳥取県立博物館

## 1 総 論

組織・運営面においては、管理課から総務課への名称変更、自然系学芸員の1名定数増、館内業務分担の横断的組織である各種ワーキンググループの導入等を行った。

展示事業においては、8回の特別展・企画展の開催、地学生物及び歴史民俗常設展示室の一部改善事業の実施に努力した。特に、全国巡回展の立ち上げ館としての取り組みや行政・民間企業等と協力した特別展の実施等これまでにない事業展開は、大きな成果を残すことができた。

資料保管事業においては、特定化学物質による資料燻蒸から職員による日常的な総合的有害生物管理（IPM）への切り替えへの取り組みを始めた。

教育普及事業においては、広報・子ども活動支援・施設案内・古文書解読の各種ボランティアの導入を行った。また、刊行物の見直しに伴い、研究報告の内容充実と体裁変更を行った。さらに、新ホームページの立ち上げにより、情報提供の迅速化と多様化を高めた。

## 2 各課の概況

### (1) 総 務 課

- ・名称を管理課から総務課に変更（H16.4.1）
- ・史料書庫空調配管等工事他実施
- ・入館料の改正：特別展示と同日に常設展を観覧した場合の常設展示の入館料を制定
- ・1階各常設展示室内に監視カメラ8基を設置

### (2) 学 芸 課

#### ●自然係

- ・定数1名増（脊椎動物担当）
- ・展覧会の開催：企画展「発見しよう！自然のふしぎ」
- ・化石産出地調査事業（3ヶ年）3年目
- ・自然資料整理事業（2ヶ年）1年目
- ・寄贈植物標本整理事業（2ヶ年）2年目
- ・自然（剥製他）資料修復事業（3ヶ年）2年目
- ・みて・さわって・調べよう資料充実事業
- ・地学・生物常設展示室解説パネル類更新（H17年3月27日～）

#### ●人文係

- ・展覧会の開催：特別展「鳥取藩32万石」、企画展「空から見た郷土のすがた」
- ・鳥取県の祭り・行事調査事業（3カ年）2年目
- ・藩政資料整備事業（10カ年計画を1年延長）11年目
- ・池田家文書デジタル発信事業（3カ年）3年目
- ・赤羽刀研磨事業（4カ年）4年目
- ・歴史民俗展示室改善充実事業（5カ年）2年目

・弥生人の脳を受入

(3) 美術振興課

- ・ 展覧会の開催：・ 特別展「荒俣宏・京極夏彦プロデュース 大(Oh!)水木しげる展 なまけものになりなさい」、企画展「現代の表現 鳥取 vol.2 『平久弥・池本喜巳 painting and photography -Presence-』」、企画展「郷土作家展 『板画の詩 長谷川富三郎』」、企画展「丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩素描展」、共同企画展「三重奏 鳥取県立博物館・倉吉博物館・米子市美術館のコレクションでつくる展覧会 第3回」
- ・ 石谷家（智頭町）資料整理調査事業（1年次）
- ・ 絵画資料修復保存事業（2年次）
- ・ 海外派遣：狩野麻里子学芸員、ベルギー王立美術館、平成16年4月15日～平成17年3月31日（総務省地方公務員海外活動派遣プログラム）